



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年7月26日

上場会社名 ビーピー・カストロール株式会社 上場取引所 東
コード番号 5015 URL <http://www.bpcastrol.com>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小石 孝之
問合せ先責任者（役職名） 財務経理部長（氏名） 渡辺 克己 (TEL) 03(5719)7870
四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 平成25年9月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の業績（平成25年1月1日～平成25年6月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	6,128	2.3	1,236	△4.4	1,232	△5.3	723	△0.4
24年12月期第2四半期	5,988	△1.1	1,293	△1.1	1,301	0.2	726	2.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	31.52	—
24年12月期第2四半期	31.66	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	13,351	10,030	75.1
24年12月期	13,063	9,542	73.0

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 10,030百万円 24年12月期 9,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	5.50	—	10.50	16.00
25年12月期	—	5.50	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	12,984	△0.0	2,279	△18.8	2,303	△17.9	1,321	△16.1	57.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期2Q	22,975,189株	24年12月期	22,975,189株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

25年12月期2Q	17,046株	24年12月期	17,046株
-----------	---------	---------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期2Q	22,958,143株	24年12月期2Q	22,958,200株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	P. 2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	P. 2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	P. 2
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	P. 3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	P. 3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	P. 3
3. 四半期財務諸表.....	P. 4
(1) 四半期貸借対照表.....	P. 4
(2) 四半期損益計算書.....	P. 6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書.....	P. 7
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府が「再生の10年」に向けた基本戦略を示す中で、期待感による円安の進行、株価の回復など市場環境の改善が見られました。一方で、欧州債務問題が引き続きわが国の景気の下振れリスクとなり、アメリカの財政問題の影響や中国の経済成長スピードの鈍化等、先行きは不透明な状態が続いております。

自動車業界におきましては、依然として小型・ハイブリッドの低燃費車並びに軽自動車から消費者からの支持を集めておりますが、新車販売台数に関しましては、前年実績を下回る傾向が続いております。また、持ち直しの兆しが見られる個人消費も、ガソリン価格の高止まり、更なる円安懸念により、今後の動向は不透明といえます。

このような市場環境の下、自動車用潤滑油の販売面では、当社の強みとする環境配慮型の低粘度・省燃費のプレミアムオイル、並びにオートマチックミッション用オイルの拡販に引き続き焦点を当て、高付加価値商品の構成比向上を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は6,128百万円、営業利益は1,236百万円、経常利益は1,232百万円、四半期純利益は723百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、12,723百万円（前事業年度末は12,560百万円）となり、163百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金（235百万円の増加）、受取手形及び売掛金（580百万円の減少）、商品及び製品（181百万円の増加）及び短期貸付金（298百万円の増加）によるものです。（なお、貸付金の内容は、BPグループのインハウス・バンクを運営しているビーピー・インターナショナル・リミテッドに対するものであります。）

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、628百万円（前事業年度末は503百万円）となり、125百万円増加いたしました。これは、主に有形固定資産（36百万円の増加）及び投資その他の資産（89百万円の増加）によるものです。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、3,284百万円（前事業年度末は3,486百万円）となり、201百万円減少いたしました。これは、主に支払手形及び買掛金（139百万円の減少）、未払金（257百万円の減少）、未払費用（334百万円の増加）、未払法人税等（97百万円の減少）及び賞与引当金（58百万円の減少）によるものです。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、36百万円（前事業年度末は35百万円）となり、1百万円増加いたしました。これは、主に繰延税金負債の増加によるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、10,030百万円（前事業年度末は9,542百万円）となり、487百万円増加いたしました。これは、主に利益剰余金が四半期純利益により723百万円増加し、剰余金の配当により241百万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,903百万円となり、前事業年度末より464百万円減少いたしました。

なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、874百万円となりました。これは主として、税引前四半期純利益が1,215百万円、売上債権の減少580百万円、たな卸資産の増加190百万円、仕入債務の減少139百万円、未払金の減少273百万円、その他の負債の増加353百万円及び法人税等の支払額591百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1,098百万円となりました。これは主に貸付けによる支出4,000百万円、貸付金の回収による収入3,000百万円及び有形固定資産の取得による支出98百万円によるものであります。

なお、貸付金の内容は、BPグループのインハウス・バンクを運営しているビーピー・インターナショナル・リミテッドに対するものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、240百万円となりました。これは配当金の支払いによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の業績予想につきましては、平成25年2月4日公表の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,084	278,478
受取手形及び売掛金	2,853,441	2,272,668
商品及び製品	402,184	584,009
原材料及び貯蔵品	33,577	42,567
前払費用	15,988	43,334
繰延税金資産	304,083	304,083
短期貸付金	8,349,166	8,647,451
未収入金	549,364	536,750
その他	9,276	13,833
流動資産合計	12,560,166	12,723,177
固定資産		
有形固定資産	322,083	359,008
無形固定資産	7,376	6,574
投資その他の資産	174,030	263,067
固定資産合計	503,489	628,650
資産合計	13,063,656	13,351,827
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,285,140	1,145,370
未払金	860,217	602,618
未払費用	557,053	891,343
未払法人税等	608,490	510,560
預り金	15,981	22,349
賞与引当金	135,281	76,936
その他	23,864	35,320
流動負債合計	3,486,028	3,284,498
固定負債		
繰延税金負債	6,452	9,271
受入保証金	28,594	27,638
固定負債合計	35,046	36,909
負債合計	3,521,074	3,321,408

（単位：千円）

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,350	1,491,350
資本剰余金	1,749,600	1,749,600
利益剰余金	6,304,102	6,786,848
自己株式	△6,489	△6,489
株主資本合計	9,538,563	10,021,309
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,018	9,109
評価・換算差額等合計	4,018	9,109
純資産合計	9,542,581	10,030,418
負債純資産合計	13,063,656	13,351,827

（2）四半期損益計算書
第2四半期累計期間

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成24年1月1日 至平成24年6月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成25年1月1日 至平成25年6月30日）
売上高	5,988,856	6,128,365
売上原価	2,904,586	3,079,853
売上総利益	3,084,269	3,048,511
販売費及び一般管理費	1,791,029	1,812,287
営業利益	1,293,239	1,236,224
営業外収益		
受取利息	11,463	13,780
受取賃貸料	7,725	7,725
受取手数料	6,621	6,567
受取補償金	2,041	1,945
為替差益	2,465	—
その他	1,750	1,269
営業外収益合計	32,067	31,289
営業外費用		
売上割引	23,957	15,248
為替差損	—	20,194
その他	2	1
営業外費用合計	23,959	35,444
経常利益	1,301,347	1,232,069
特別損失		
固定資産除却損	421	623
特別退職金	—	15,482
特別損失合計	421	16,105
税引前四半期純利益	1,300,926	1,215,963
法人税等	573,987	492,157
四半期純利益	726,938	723,806

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成24年1月1日 至平成24年6月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成25年1月1日 至平成25年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,300,926	1,215,963
減価償却費	68,355	77,538
賞与引当金の増減額（△は減少）	△86,428	△58,345
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△14,909	—
前払年金費用の増減額（△は増加）	—	△81,378
受取利息及び受取配当金	△11,536	△13,855
支払利息及び売上割引	23,957	15,248
固定資産除却損	421	623
売上債権の増減額（△は増加）	587,260	580,772
たな卸資産の増減額（△は増加）	△214,170	△190,814
その他の資産の増減額（△は増加）	△51,404	△13,217
仕入債務の増減額（△は減少）	△181,336	△139,770
未払金の増減額（△は減少）	△246,236	△273,361
その他の負債の増減額（△は減少）	159,507	353,549
小計	1,334,404	1,472,952
利息及び配当金の受取額	10,854	9,643
利息及び売上割引の支払額	△38,055	△16,261
法人税等の支払額	△609,937	△591,464
営業活動によるキャッシュ・フロー	697,265	874,869
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	△4,000,000	△4,000,000
貸付金の回収による収入	3,000,000	3,000,000
定期預金の預入による支出	△2,600	△300
定期預金の払戻による収入	—	1,257
有形固定資産の取得による支出	△77,018	△98,632
無形固定資産の取得による支出	△1,705	—
投資有価証券の取得による支出	△600	△601
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,081,923	△1,098,275
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△241,636	△240,950
自己株式の取得による支出	△24	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△241,661	△240,950
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△626,318	△464,356
現金及び現金同等物の期首残高	2,505,204	2,367,397
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,878,886	1,903,040

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。